

# ふれあいラボ通信



Vol. 4 平成28年度冬号 2017.1 発行 ふれあいラボ TEL092-327-8181

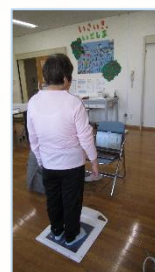
## 1. ふれあいラボの来所者数は、おかげさまで、500名を突破

平成28年4月24日に開所いただきました「ふれあいラボ」の来所者は、おかげさまで500名を突破しました。（2017年1月末現在）色々な方と知り合い、また、つながりができた一年でした。現在、月平均4,50名が来所されるスポットとなっております。ふらっと立ち寄ってみるには立地的に決してよい条件ではありませんが健闘していると思います。

今後さらに色々な仕掛けをみなさまとともに考え実現していきたいと思います。遠方でもとにかくここに来ると楽しいから！と来ていただく、そして何度でも足を運んでいただく、そんな場作りを目指していきますのでよろしくお願いいたします。

## 2. 地元体操サークル「ハッピー体操」に協力 体操効果測定を実施

お隣の可也公民館で実施されている「ハッピー体操」というサークルにおじゃまして、「ふれあいラボ」の認知活動のため「SRソフトビジョン」という面状感圧センサのデモをしました。先生、生徒さんたち熱心な方々で、こういうものを使って自分たちのしている体操の効果を知りたい、もしくは、自分たちの今のカラダの状態を知りたいということです。体操効果測定、カラダチェックのコラボ案件に、今、発展しつつあります。



## 3. 糸島新聞に掲載されました！

平成29年1月19日付「糸島新聞」に、「ふれあいラボ」が紹介されました。体力測定や、福祉機器の体験展示されている「ふれあいラボ」の市民の利用を呼びかける内容になっています。地元の人たちも、そうでない人たちも是非、「ふれあいラボ」を体験してみては？

## 4.福岡県京築地区老人福祉施設相談員の方々が来所

1月13日、福岡県京築地区老人福祉施設相談会の方々14名が来所されました。現場の目線で熱心に説明を聞かれ、ふれあいラボの機器を体験されました。

“地域の問題を解決するには、多くの人たちの連携や支援が必要であり、その為の課題解決は、「これらのことに興味を示さない人々」が、より多くのヒントを持っているのではないかと思います。業界とは関係のない地域の方々が訪れて、興味を持っていただき、関わってもらう入り口の役割を、「ふれあいラボ」は担っていると感じました。”などの声をお聞きすることができました。

「ふれあい」ラボにご関心のある方々、是非一度、足をお運びください。



## 5.地元志摩中学生有志が、「ふれあいラボ」を見学

1月24日、福祉に興味のある地元志摩中学生が、社会見学として「ふれあいラボ」を訪れ、「アシストスーツ」をはじめ、バランス計や、胸骨圧迫訓練評価システム「しんのすけくん」などを体験されました。社会福祉法人志摩会の施設見学や介護体験の一環として、「ふれあいラボ」での見学・体験が、プログラムとして組み込まれました。今まで触れたことのない介護福祉に関する機器の体験は、福祉に興味のある中学生にとって、とてもいい刺激になったのではないかと思います。

「ふれあいラボ」では、青少年の教育に関するお手伝いもしていきます。